

第3ワーキンググループ第1回会合でヒアリングにより確認すべきとされた事項

重要検討項目	ヒアリングにより確認すべきとされた事項	担当府省
1. 匿名データ・オーダーメイド集計（二次的利用）、調査票情報の提供について	（1）二次的利用の開始に向けた検討状況について ①「統計ニーズに係るアンケート」の結果、及び、どのようなニーズ（対象とする調査、項目・変数、手続等）がどの程度寄せられているかについて、ご教示いただきたい。 ②①の各ニーズに対し、それぞれどのような対応がなされているか具体的にご教示いただきたい。	総務省（政策統括官（統計基準担当））
	③上記「統計ニーズに係るアンケート」以外でニーズを把握されている場合は、どのような方法で行われているか。また、どのようなニーズが寄せられているかをご教示いただきたい。 ④各府省における、二次的利用の開始に向けたこれまでの検討状況及び今後の具体的方針についてご教示いただきたい。また、ニーズを踏まえた検討の配慮はなされているか。	総務省 財務省 文部科学省 厚生労働省 農林水産省 経済産業省 国土交通省
	（2）二次的利用の提供実績について ①21年度から二次的利用の提供が開始された統計調査について、対象年、対象調査項目等の調査範囲の拡大の見通しについてご教示いただきたい。 ②二次的利用の21年度の提供実績の具体の内訳についてご教示いただきたい。 ③必ずしも利用件数が多いが、その理由についてどのように考えているかご教示いただきたい。また、今後利用件数を増やすためにどのような手立てが考えられるかご教示いただきたい。 ④実際に利用された方からの意見・要望（例：提供される変数や使い勝手など）の把握はどのように行われているか。また、どのような意見・要望が寄せられているか、及び意見への対応状況（どのように運用に反映させているか）についてご教示いただきたい。	内閣府・財務省 総務省 文部科学省 厚生労働省 農林水産省
	（3）二次的利用、調査票情報の提供にかかる制度・手続について ①利用までの手続・流れについてご教示いただきたい。 ②利用者等からは制度・手続についてどのような意見・要望がどの程度寄せられているか、また、その対応状況についてご教示いただきたい。	総務省（政策統括官（統計基準担当））

2. 中核的職員の計画的な育成・確保の推進について	(1) 統計担当職員の人材育成について ①統計主管部局の統計担当職員の人材育成について、どのような考え（方針）をお持ちかご教示いただきたい。 ②統計職員の質について、現状の把握はどの程度行われているのか、ご教示いただきたい。 （例えば、指標として、「統計主管部局所属職員全体に占める中核的職員の割合」、「現在の職員の在職期間の分布（当該部局における累積在職年数が5年未満・10年未満・10年以上の割合）」などが把握されているか。） (2) 学界との人材交流、学会との連携について ①統計部局における大学等の研究機関との昨年度の人事交流の実績（相手先別の派遣者数、受入者数）についてご教示いただきたい。 ②統計部局において、担当している統計の作成等に関連して、昨年度に学者あるいは学会から知識を得る機会を持った実績（以下の(1)～(5)に示す場合毎のおおよその回数及び主なものについてその概要）について、可能な範囲でご教示いただきたい。 ○学者に対して、所掌する業務についての具体的な問題への解答・提言を求めた実績 (1)研究会等への参加による場合 (2)それ以外の場合 ○上記以外の、統計全般あるいは統計調査の対象分野全般について、学者から知識の提供を求めた実績 (3)レクチャー、講演による場合 (4)それ以外の場合 ○職務の一環として職員が学会の大会等に参加した場合 (5)職員が知見を高めるために、職務の一環として、学会の大会、コンファレンス、あるいは大学のセミナーなどに参加し、場合によっては発表を行った場合 ③学界との人材交流や学会との連携に関する今後の取組について、どのような考えをお持ちかご教示いただきたい。	内閣府 総務省 厚生労働省 農林水産省 経済産業省
----------------------------------	--	--

	(3) 府省間の人事交流について これまでに府省間の人事交流で効果が高かったと思われる事例があれば紹介していただきたい。	
	(4) 国際的な分野での人材育成について ①国際統計分野で活躍できるような職員の養成について、どのような考え（方針）をお持ちかご教示いただきたい。 ②今後、海外の政府統計機関への派遣を行うことに対して取組の方向性はあるかどうか、ご教示願いたい。（例えば、Eurostat や Statistics Canada への短期研修等を検討してはどうか）	